

【1回目登壇】

こんにちは。日本維新の会の辻信行でございます。

第4回定例会におきまして、質問の機会をいただきありがとうございます。先輩、同僚議員の皆さまにおかれましては、しばらくの間、ご清聴のほど、よろしくお願いいたします。

今年は新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が長く続き、医療従事者の皆様を始め、対応にあたられている多くの方々が大変なご苦勞をされた1年となりました。皆様の日々のご苦勞に心から感謝申し上げます。また、市民の皆様におかれましても、多くの変化をもたらす1年となりました。緊急事態宣言が解除され、外出の機会も増える年末年始を迎えますが、新たな変異株も確認されており、市民の皆様とともに、引き続き、感染予防の徹底に努めてまいりたいと思います。

今回も、これまでの質問に対する市の検討状況の確認も含めて、質問をさせていただきます。早速ですが、質問に入らせていただきます。

まずは、東園田地域の住民にとって、大変大きな問題となっている園田西武庫線藻川工区の新藻川橋の通行についてお伺いします。

地域の住民にとっては、園田東生涯学習プラザが予定どおりオープンしたことにより、災害時の市の指定避難場所に行くには、藻川を渡ることが必要となりました。生涯学習プラザのオープンに合わせて新藻川橋も開通する予定であり、避難経路も確保できることから、園田地区会館の移転にも納得をされた住民が多くいます。安心して暮らせる日常が、新藻川橋の開通が大幅に遅れていることにより、災害時に避難経路として活用できず、不安に感じている住民もいます。

そういった地域住民が抱える不安を一日も早く解消できるよう、地域の代表の方々も積極的な活動に取り組んでおられます。今年、9月16日には尼崎東警察署と県の西宮土木事務所を訪問し、新藻川橋を避難経路として歩行者・自転車が一刻も早く通行できるよう要望書を提出されました。その際、土木事務所の担当者からは、「現在は資材置き場として使用しており通行は難しいが、資材置き場として使わなくなる5月頃には、可能性としての話ではあるが、通行を検討できるように県と市で調整を行えるよう努めたい」といった前向きな話もいただきました。また、先日11月20日には、稲村市長にも直接要望書を手渡され、地域の思いも市長に直接伝えられました。

そういった地域の方々の思いを、市長はどのように受け止められましたか。お聞かせください。

令和3年12月議会一般質問

日本維新の会 辻 信行

これまでの都市整備局長からの答弁でも、一日も早い供用開始を目指すとされていますが、市ができる対応は全て実行していただきたいと思います。

9月以降、県とのやりとりなど進捗状況はどのようになっていますか。お聞かせください。

市長にも直接要望書を受け取ってもらい、地元住民は県と市が協力して、一日も早く通行が可能となることを信じています。避難経路としての橋の利用が最優先事項であり、利用可能となる時期を県と市には早急に示していただきたいと思います。

新藻川橋を災害時の避難経路として利用できるようになる時期を、現時点で示していただけませんか。難しいようであれば、早急に県と調整して、時期を示す考えはありませんか。お聞かせください。

次に、北消防署園田分署跡地の活用についてお伺いします。

前回、9月議会の質疑において、地域の消防団分団の器具庫については、改善が必要なところがあるということや、条件が整えば改善に向けて着手したいとの市の考えを答弁いただきました。また、提案をさせていただいた北消防署園田分署跡地の活用については、売却を基本としているが、園田地域の分団器具庫の建替えについて全体の優先順位や周辺の土地の状況も踏まえ検討を進めたいとの考えを示していただきました。

園田地域の分団器具庫の建替えについては、その検討状況によっては園田分署跡地の活用も視野に入れる必要があります。

お伺いします。

園田地域の分団器具庫の建替えについて、優先順位や周辺の土地の検討状況はいかがでしょうか。お聞かせください。

また、園田分署跡地の売却の判断時期は、いつ頃を考えているのでしょうか。お聞かせください。

分団器具庫の建替えについて課題として認識しているのであれば、園田分署跡地の売却は、その代替地があってこそ進めることが可能になるのではないのでしょうか。

北消防署園田分署跡地の一部を園田地域の消防団の分団器具庫の建替え用地として活用することについて、市としての考えをお聞かせください。

次に、私道の街灯助成等についてお伺いします。

9月議会において、助成制度の内容についても検討を進めているとの答弁をいただきました。市全体では町会灯の総数が約2800基にもなると予想されていますが、優先順位をつけての助成の検討など、令和4年度に向けて進めてくださっていると認識しています。

優先順位をつけるなどの方法はやむを得ないと思いますが、今回のアンケートなどによって、地域の声を市がどのように受け止めているのかが気になります。

私のもとには、地域住民の高齢化などにより、町会灯の管理自体を市にお願いしたいといった声も届いています。

お伺いします。

今回のアンケートなどによって、私道の街灯の管理について、地域の方々はどういった支援の仕組みを求めているのか、現時点での市の認識をお聞かせください。

また、令和4年度の制度構築に向けても調整を進めているとの認識でよろしいでしょうか。お聞かせください。

さらに、具体的に調整を進めている内容について、現時点で可能であればお聞かせください。

以上で、1回目の質問を終わります。

【2回目登壇】

答弁をいただきありがとうございます。

次に、いよいよ1月に開始される中学校給食について、地産地消の取組も合わせてお伺いします。
先日12月4日には、学校給食センターの竣工式も行われ、中学校給食の開始に向けて準備も大詰めになっていることと思います。給食開始前の最後の質問の機会ですので、第1回目の記念給食などについて質問させていただきます。

お伺いします。

第1回目の記念給食の献立について、その内容や決定に至った経緯について、可能であればお聞かせください。

かねてから、市内産食材の学校給食への活用について、質問を重ねてまいりました。尼崎米の使用については、量や価格などについて調整中とのことでした。

第1回目の記念給食への尼崎米の活用はどのようになりましたか。お聞かせください。

また、お米以外の市内産食材について、今後の活用も含めて調整状況をお聞かせください。

地産地消の観点からも、農業者と積極的なやりとりを継続し、学校給食での市内産食材の活用による地産地消の取組をさらに進めていただきたいと思います。

中学校給食の開始を契機として、市内の農業に何か良い変化みられることがあればお聞かせください。

次に、選挙の投票に関して、順次お伺いします。

まずは、投票所の運営についてお伺いします。

10月末の衆議院議員選挙は、コロナ禍での実施となり投票所の運営にあたっては、多くの苦労があったかと思いますが、地域の投票所では多くの待ち時間が生じ、私のもとにも地域の方々から多くの声が寄せられました。受付までの待ち時間があまりにも長く、投票せずに帰宅した方もいると聞いています。

衆議院議員選挙の投票所において、多くの待ち時間が生じた状況を選挙管理委員会として、把握しておられますか。また投票せずに帰宅した方もいるなどの報告は受けておられますか。お聞かせください。

また、投票日当日は、投票所が指定されていますが、投票所の変更などもあり、場所を間違えて投票に来られる方も多くいらっしゃるとお聞きしています。そのような状況は一刻早く改善し、投票を希望される方が漏れなく投票できるようにする必要があります。

お伺いします。

投票日当日も、紙での名簿の確認ではなく、期日前投票のように機械化を行い、投票所を間違えた方もその場で投票できるように改善すべきであると思いますが、いかがですか。

令和4年度には、参議院議員選挙や市長選挙が予定されており、コロナ禍が続く中で、投票所の運営においては今回と同じ状況が予想されます。

今年の選挙での状況も踏まえて、運営面で改善が必要であると思いますが、どのように考えているのかお聞かせください。

次に、市長選挙で使用する投票用紙についてお伺いします。

先日、西宮市選挙管理委員会が、来年3月に実施される西宮市長選挙などにおいて、あらかじめ候補者名が印字された投票用紙に、丸印を書いて投票する「記号式」を採用すると発表しました。兵庫県内での導入は10月の神戸市長選挙に続いて2例目になるそうです。「記号式」は、『文字を書きにくい障害者や高齢者も投票しやすい』『疑問票や無効票が減る』『集計のスピードが上がる』といった利点があるようです。

本市でも来年、市長選挙が予定されていますが、より多くの方々に投票していただき投票率を向上させる取組が必要です。「記号式」の導入も一つの方法であると思いますが、投票率向上に向けて、どういった取組を検討されているのか、お聞かせください。

最後に、あらためて市の取組に対して、要望させていただきます。

新藻川橋の早期通行について、いつ起こるかわからない災害に備えて、地域住民の命を守るため、歩行者・自転車が一刻も早く通行できるよう、地域の方々の声や行動を無駄にすることなく市長が先頭に立って取り組み、ぜひ実現をさせてください。

北消防署園田分署跡地の活用については、器具庫の改善が必要な消防団分団にとって、環境改善を図る大変重要な機会です。実現に向け、前向きな調整をお願いします。

町会などによって設置されている街灯の維持管理については、その負担が地域にとって切実な課題となっており、地域の生活道路を明るく照らし、今後も安心・安全に通行できるよう、地域団体に寄り添った対応をお願いします。

市内産食材の学校給食への活用については、農業者の声も聞きながら、今後も継続して取り組んでいただくよう要望します。

選挙の投票所の運営や投票方法の改善については、本市の課題である投票率の向上にもつながり、また市民の投票する権利を守ることにもなります。改善に向けた積極的な取組を要望します。

以上で、私の質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。